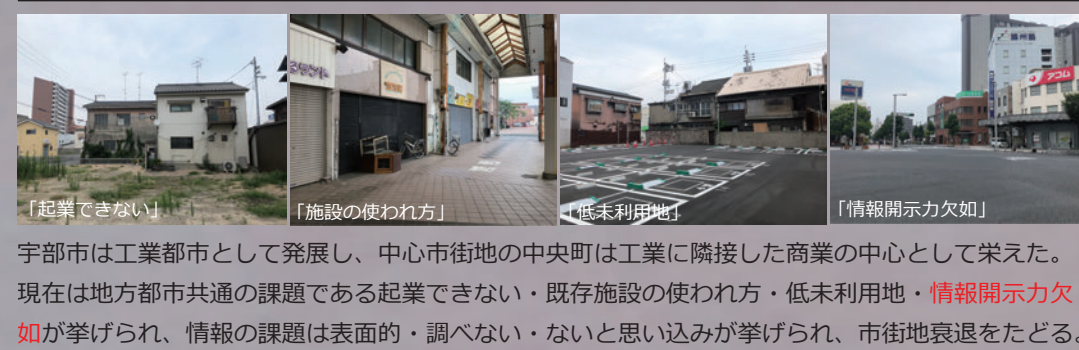


# POP VIRUS

宇部市に成り立つ盛り場形成の情報塔を提案する。これまで真の情報でない電子媒体の表面的な情報が世の中に増殖し、蝕まれていくまちは実体験の情報取得の場としてまちと人々に開放され、閑散としたまちは活気溢れる盛り場へと連続する。地方都市の特性を活かして広告掲載料が安い情報取得も容易であり、埋もれた施設、低未利用地は能動的な情報発信・取得により、施設の使われ方が見直され、Pop がまち全体を蝕み始める。



## 01. 宇部市=閑散としたまち -見直されるべき情報開示-



宇部市は工業都市として発展し、中心市街地の中央町は工業に隣接した商業の中心として栄えた。現在は地方都市共通の課題である起業できない、既存施設の使われ方、低未利用地、情報開示力欠如が挙げられ、情報の課題は表面的・調べない・ないと思いが挙げられ、市街地衰退をたどる。

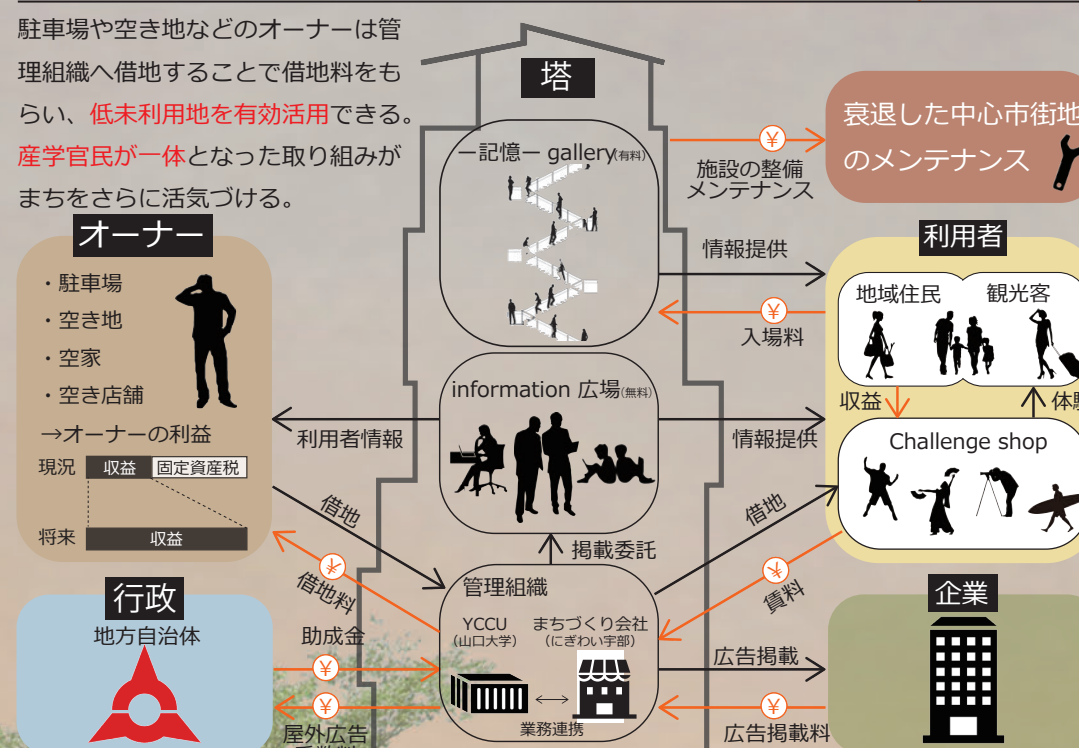
## 02. 埋もれた地域資源再生 - 良好な盛り場の4条件から -



## 03. 感染経路 - Pop Virus の形成 9 段階 -



## 新しい盛り場を支える広告システム - 低未利用地から Pop Virus へ -



## 04. Pop Virus が作り出す盛り場の最終形態 - 次から次へと Pop がまちを侵食する -



	芸術	産業	地元	観光	その他
短期	歌手	不良	主婦	宿泊	議員
中期	執筆	主婦	主婦	ペット	アイドル
	彫刻家	料理人	DIY	カメラマン	学生
長期	画家	農家	高齢者		

